

(様式2)

2020年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

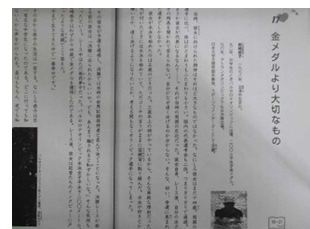
事業実施報告書

I	スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
II	マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
III	スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
IV	日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
V	スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 静岡県 】

学校名【 磐田市立竜洋中学校 】

1 実践テーマ	I・III・V
2 実施対象者 (学年・人数)	1年生生徒 173名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 ( 道徳 ) ② 行事名 ( ) ③ その他 ( 総合的な学習の時間 ) (2) 地域における活動 ① イベント名 ( ) ② その他 ( )
4 目標 (ねらい)	普段生徒が接する機会の少ないオリンピックから、競技に対する思いやオリンピックに出場して得たもの等の講演を聞くことで、生徒がオリンピックに対する興味関心を高め、オリンピックを身近に感じるとともに、オリンピックの生き方にふれ、自らの生活や未来の自分について考える機会とする。
5 取組内容	(事前) ・道徳で岩崎恭子さんについての資料を扱い、講師について知るとともに、講演への興味関心を高める。 (当日) ・講師の講演を聞く (ZOOM) 講師：バルセロナオリンピック水泳 200m 平泳ぎ金メダリスト 岩崎恭子さん (事後) ・講演を聞き、感想や自分の生活や生き方に生かしていきたいこと等をレポートにまとめる。 ・校内のオリパラ掲示コーナーに講演の様子を掲示し、生徒、職員のオリンピック・パラリンピックへの機運を高めていく。



6 主な成果

岩崎さんの話を聞いて「目標」というワードがすごく出てきました。メダルを目標にしていたこともあったけれど、今は自分自身の目標をどうやって実現していくか、そして自分自身が何を目標にするか、という点にフォーカスして話を聞きました。岩崎さんの話を聞いて、自分自身の目標をどうやって実現していくか、という点にフォーカスして話を聞きました。岩崎さんの話を聞いて、自分自身の目標をどうやって実現していくか、という点にフォーカスして話を聞きました。

岩崎さんは、金メダルをとったことにはとても誇りを感じておられると思います。でも、今は自分が何を目標にするか、という点にフォーカスして話を聞きました。岩崎さんの話を聞いて、自分自身の目標をどうやって実現していくか、という点にフォーカスして話を聞きました。

お話を聞いたことが2つあって、1つ目は14歳の金メダルをとり、2つ目はその金メダルをとり、2年ほど長いスパンにわたってオリンピックに出たことにも驚かされた。岩崎さんの考え方は、「なにかを目標にするときは、必ずしも大きな目標にする必要はない」という考えにとても共感した。自分自身も、必ずしも大きな目標にする必要はない、という考えにとても共感した。

- ＜生徒の感想から＞
- 心に残ったことは
  - ・目標をもつ
  - ・悩みながらも前に進むことは悪くない
  - ・人と比べないこと
  - ・幸せは自分の心が決める
  - ・1秒前は戻ってこない
- など

岩崎さんの経験や生き方についてのお話は、目標を持つことの大切さや、悩みをプラスに変えて前向きに生きていくことなど、生徒の心に響くものであった。オリンピックの金メダリストから話を聞くことで、生徒自身の生活や生き方を考える大変良い機会となった。

また、今年開催されるオリンピック、パラリンピックについての関心を高めることにもつながった。

7実践において工夫した点(事業の特色)

コロナ禍にあって、講師を招聘しての講演会は難しいと考えていたが、ZOOMでのオンライン講演会を実施した。また、学級ごとに大型モニターを通して行うことで、生徒がより身近に感じられるようにした。

8主な課題等

- ・コロナ禍にあり、どのような取組が可能であるか模索したり、休校となり、教育課程の再編成のため、取り組み日程を生み出したりするのに苦心した。その中で、県教委の支援によって、今回の講演をご提案いただき、大変助かった。
- ・オンライン講演を初めて実施したが、大変充実した会となった。このような形式もよいと感じた。

9来年度以降の実施予定

オリンピック、パラリンピックの講演会(講師招聘またはオンライン)